

## 2019 年度実施概要

学校名

只見町立只見中学校

採択活動名

海を意識しての生活を考える ～水から学び持続可能な社会をつくる生徒の育成を通して～

取り組みの概要

本校では、テーマを「水の都只見町からの発信」とし、総合的な学習の時間や社会科の時間を利用して海洋教育の視点を付加した ESD を行っている。水を利用し、水によって生き、水を敬うことで只見をより深く学ぶことにつながる。自然環境を大切にしながら、産業の発展を望み、数十年後も持続可能な社会を形成することが町の課題であり、生徒に教育していかなければならないことである。

只見中学校の活動のテーマは『海を意識しての生活を考える ～水から学び持続可能な社会をつくる生徒の育成を通して～』である。具体的には3つであるが、どの活動も生徒の健全育成だけでなく、グローバルな視点から只見町を考え持続可能な社会を形成させるためには、欠かせないものである。

## ① 海浜クリーンナップ作戦

海が命の母であるということを感じるために、海辺のゴミ拾い活動と、海での魚釣り体験を行った。河川の上流に生活する我々が注意することが、海の環境を良くすることに繋がるということも考えられるようになった。



## ② バフンウニの飼育

海洋から地理的に離れている只見町で、いつも海洋を意識して生活することが非常に困難である。特に冬期間の生活は雪に閉ざされ、町から出ないで生活をしている生徒も多い。海洋生物を実際に飼うことで、海を身近に感じさせるようにした。ウニを飼うための水は、学校の近くでわき出る水に海塩を入れて作っている。飼育水から海までのつながりや命の尊さも学ぶことができ、非常に良い教材となった。



## ③ 古新聞紙でレジ袋づくり

①海浜クリーンナップ作戦を経験し、考え実行に移したのが古新聞紙を利用したレジ袋作りである。レジ袋を作り地元のコンビニエンスストアで使ってもらうことになった。また店に自分たちの取組をポスターにして掲示してもらっているため、生徒が地域の方から声をかけて頂き励みになっている。

実施単元名

1. 海を意識しての生活を考える